

一般廃棄物の現況と推移(平成30年度実績)

1 ごみの排出量及び県民1人1日当たりの排出量の推移

- 平成30年度の県内のごみの総排出量は826千トンで、県民1人1日当たりの排出量は982g/人日(前年度10g/人日減)でした。
- 平成16年以降減少傾向にあった総排出量及び1人1日当たりの排出量は、平成23年度において東日本大震災の影響から大きく増加し、以降も毎年度減少傾向ではあるものの、高い水準で推移しています。

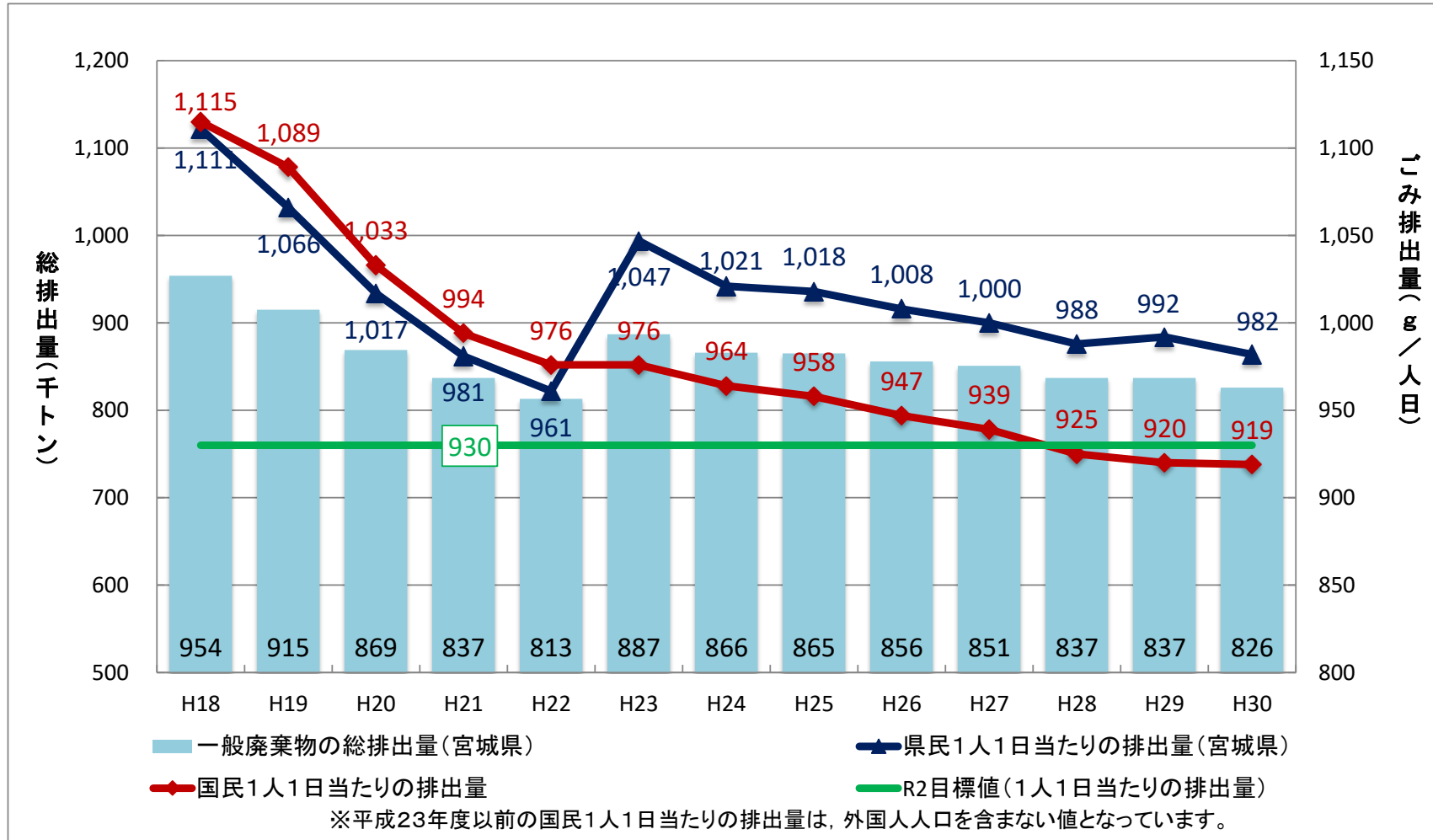


図1-1 ごみの総排出量の推移

○ 平成30年度の県民1人1日当たりの排出量は、生活系が678g/人日（前年度5g/人日減）、事業系が304g/人日（前年度5g/人日減）でした。

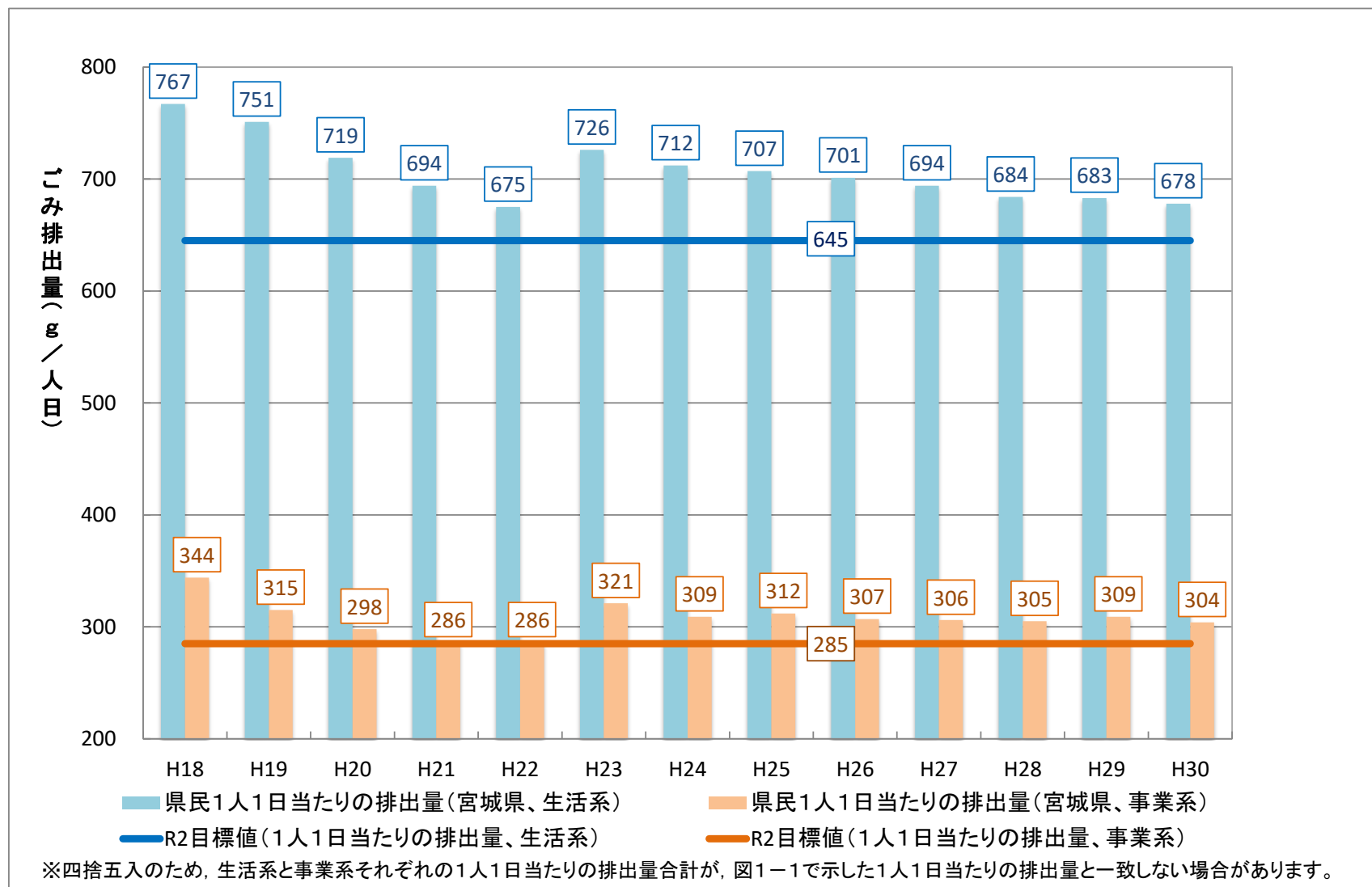


図1-2 1人1日当たりの排出量の推移

2 一般廃棄物のリサイクル（再生利用）率の推移

- 平成30年度の県内の一般廃棄物のリサイクル量は133千トンで、これに事業者の自主的再生利用の実績（104千トン）を加えた宮城県内のリサイクル率は、25.5%でした。

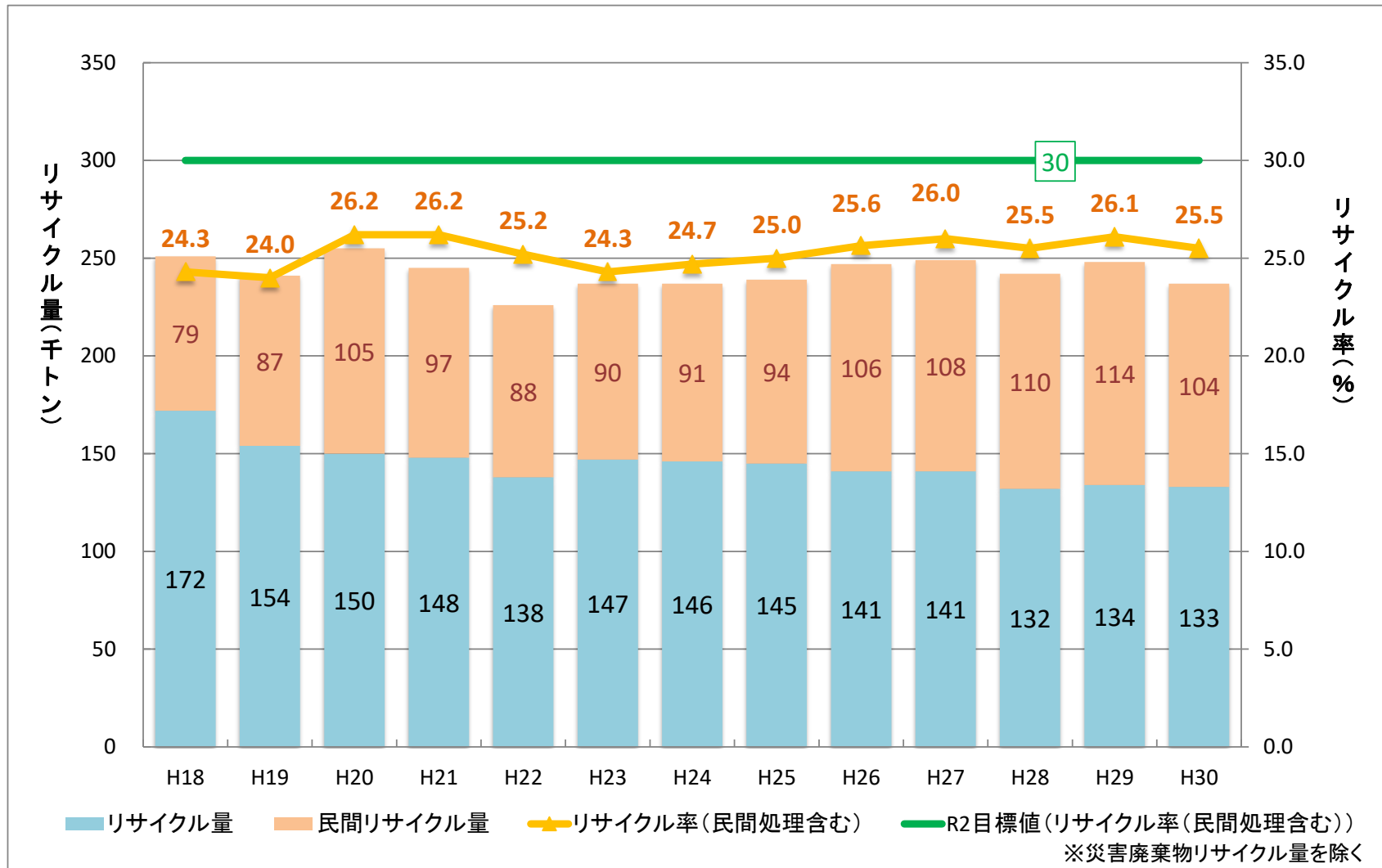


図2-1 県のリサイクル率の推移

○ 事業者の自主的再生利用を除く再資源化量は133千トン、リサイクル率は16.1%で、昨年度から横ばいです。また、リサイクル率は全国平均と比べると大きく下回っています。

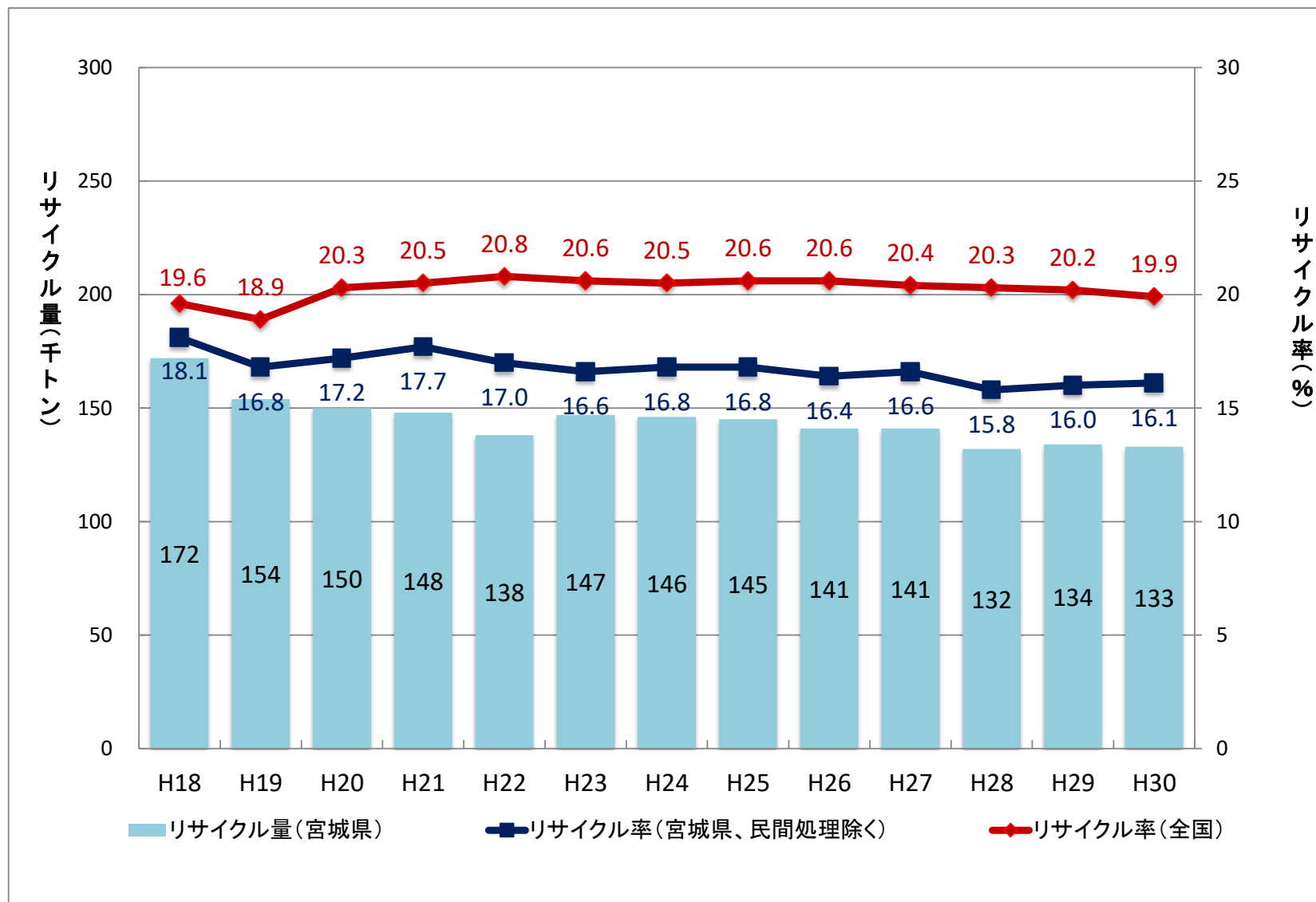


図2-2 県と国のリサイクル率の比較

3 一般廃棄物の最終処分量・最終処分率の推移

○ 平成30年度に埋立場へ最終処分されたごみは95千トンです。平成29年度とほぼ同程度でした。最終処分率については、平成29年度より増加していますが、目標を達成している状況です。

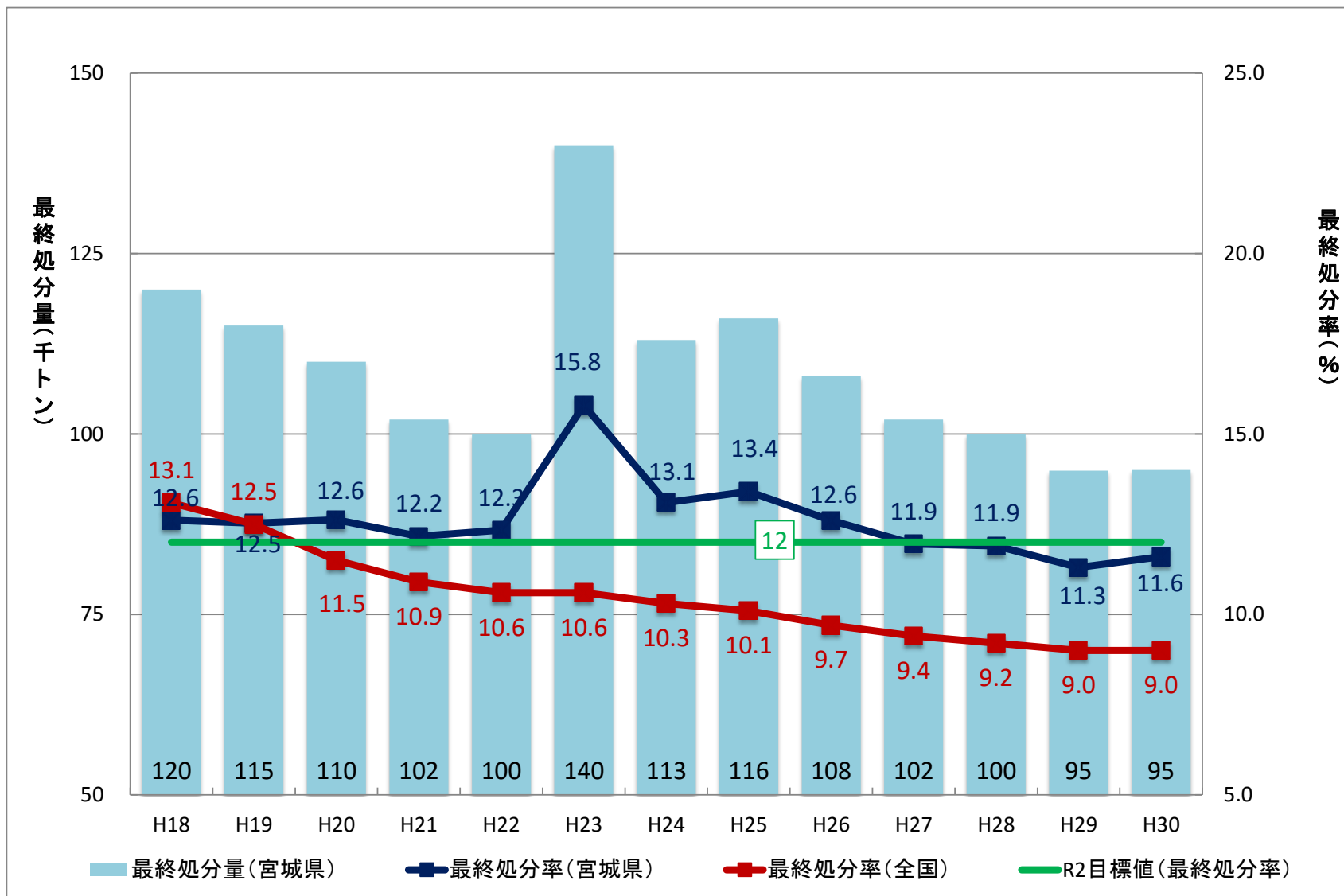


図3 最終処分量及び最終処分率の推移